

向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

この度は「情報労連愛の基金」助成金をいただきありがとうございます。

お陰で自然災害被災者の支援活動を継続して行うことができます。

当チームは2011年3月、東日本大震災被災者支援を目的に設立、以来、今日まで石巻市の被災者支援を行っています。

翌12年には北部九州豪雨が発生しチームの拠点である日田市も被災、被災者支援活動を行うこととなりました。

16年には熊本・大分地震が発生。発生翌日からその被災者支援活動を行うこととなりました。南阿蘇村の避難所支援、大津町・西原村・菊池町での家屋片付けなどに携わり、これらの作業が終了した11月以降は益城町テクノ仮設住宅団地の支援に取り組むこととなりました。仮設住宅には月に1回訪問。出前うたごえ喫茶、食事会、指編みやフラワーアレンジ教室、一坪菜園や花壇づくりなどを行っています。

17年には九州北部豪雨が発生。石巻や益城町の支援活動を継続しながら、日田市の被災者支援活動に取り組むこととなりました。この活動がようやく終了した18年7月には西日本豪雨が発生、休む間もなく久留米市で活動、引き続いて現在は愛媛県宇和島市で被災したビニールハウスの撤去作業などに携わっています。

今日、チームは石巻市、益城町及び宇和島市の活動を並行しながら行っています。

これらの活動はかなりの費用が伴います。

この費用はメンバーの自己負担及び個人、団体からの寄付金によって賄われます。

世情厳しき折、寄付金なども思うに任せません。

このような時期に貴組織からの助成金はまさに天の助けであり、メンバー一同感謝の念一杯です。

11月は宇和島市での活動と定例の益城町仮設住宅訪問、12月には石巻市で8回目となるクリスマスプレゼント運動を行います。

貴組織の組合員皆様の善意でこのような活動ができることを被災地の方々にお伝えして参ります。

この度は本当にありがとうございました。

重ねてお礼を申し上げます。

一段と寒さに向かう折、皆様のご健勝をお祈りいたします。

2018年11月7日
ボランティアネットワーク「チーム大分」
代表 梅山忠信

「チーム大分」活動の記録

2017年7月5日、九州北部豪雨発生。日田市においても大鶴地区、小野地区、朝日地区などにおいて甚大な被害を受けた。

チームは7月6日から山田町での活動を開始。この時点でボランティアセンターは開所しなかったが、開所して以降はボランティアセンターと連携して8月末まで、ボランティアセンター閉所以降は、民間団体が立ち上げた“ひちくボランティアセンター”の運営の一翼を担い、大鶴地区、小野地区などで2018年6月末まで活動した。18年7月には西日本豪雨が発生。久留米市で一月活動、その後、宇和島市で活動している。



大鶴・小野地区での活動



宇和島市での活動（現在継続中）



益城町テクノ仮設団地での活動



石巻市でのクリスマスプレゼント活動

